

令和2年度 学カスタンダード指導計画・報告書

教科：(数学) 科目：(数学 I) 対象：(第 1 学年 1 組～5 組)

教科・科目の 指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校までに学習した基本的な内容を身につける。 ・文字を扱った式の計算ができるようになる。
----------------	---

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	<p>1. 小数、分数の四則計算ができない生徒も多く小学校、中学校時代の基本の理解が全体として不十分である。</p> <p>2. 多くの生徒に苦手意識が根付いている。</p> <p>※本校では学力検査による入試を実施していないため、年度当初の授業中の生徒観察から判断した。</p>	<p>1. 小学校および中学校1年生の復習からスタートし、年間を通して中学3年生までの基礎基本の計算や知識を習得させる。そして、高校1年生の数と式および2次関数における基礎基本の考え方・計算力を習得させる。</p> <p>2. 分野によってはオリジナルのプリントを利用して、生徒に学習してほしい最低限の計算や知識を習得してもらう。</p> <p>3. シンプルな説明をして、演習時間、質問時間を確保する。また習熟度別授業によって手厚い指導をしていく。</p>	<p>1. 解き方を何度も実践し、誰でも分かる質問をし「できる」という成功体験を多くさせる。</p> <p>2. 習熟度授業の強みを活かし、個々の疑問に対応できる体制をとる。</p> <p>3. 本校独自のカリキュラムを組み、生徒にあった内容(小学校～中学校～高校1年[数と式]・[関数])を1年かけて指導していく。</p>

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			